

表2

CPDポイント表

分類	CPDアイテム		年間上限	備考
I. 技術情報吸収等	①技術士会共通講習受講	H	無し	主に技術士CPDコース
	②学術講演会、技術講演会、セミナー、オープンカレッジ等の聴講			
	③受験講習会等の受講			
	④初級技術者研修会の受講			
	⑤見学会参加			
	⑥社会人博士課程・修士課程履修			
	⑦社会人夜間大学履修			
II. 企業内研修およびOJT	①企業内研修プログラム受講（プログラムが明示されていること）	H	20	研修プログラムの学会登録要 OJTプログラムの学会登録要
	②OJT（プログラムが明示されていること）			
III. 自己学習	①専門書・学会誌購読・通信教育等自己学習	H	20	レポート作成
IV. 業務経験	①APECエンジニア要件対象業務相当の実務経験	-	40	APECエンジニア対応（別途） レポート作成（年1回提出） レポート作成（年1回提出）
	②成果を上げた業務等（責任者）	20		
	③同上（担当者）	10		
V. 究・技術成果報告	①原著論文・技術報告掲載（査読付、単著・筆頭著者）	40	20	
	②同上（査読付、筆頭以外の連名著者）	20		
	③シンポジウム等論文（概要による査読付、単著・筆頭著者）	10		
	*上記③を外国語で口頭発表した場合の加算	20%加算		
	④同上（概要による査読付、筆頭以外の連名著者）	5		
	⑤シンポジウム論文の口頭発表	0.4M		
	*①～⑤の論文が外国語の場合（単著・筆頭著者）の加算	20%加算		
	⑥論文梗概（単著・筆頭著者）	5		
⑦同上（筆頭以外の連名著者）	2			
VI. 情報提供・技術指導	⑧論文梗概による口頭発表	0.4M	無し	
	①技術解説記事執筆	2/頁		
	②技術図書の執筆	2/頁		
	③技術講演会、講習会等の講師、シンポジウムパネラー	10		
	④技術講演会、講習会、学術講演会の座長・司会	5		
	⑤学協会研究委員会等委員	H		
	⑥学協会研究委員会等委員長・主査・幹事	2H		
	⑦原著論文査読・図書原稿査読	H		
	⑧応急危険度判定等専門知識による社会貢献活動	2H		
①～⑧までを外国語または外国での活動の場合の加算	20%加算			
VII. 講師	①社内研修会等の講師	2H	20	
	②大学での非常勤講師	2H		
VIII. 受賞・資格取得・その他	①受賞（空・衛学会賞等）	20	無し	
	②空・衛学会設備士	20		
	③関連資格・学位取得	20		
	④特許出願（受理）	20を連名者で配分		
	⑤上記以外で、CPDに値すると判断されるもの	適宜判断		